

目次

第1章	はじめに	1
第2章	地盤の構成から読み取る情報	5
2.1	地形・地質・地盤水理情報 から問題点を探る	5
2.2	地質図・地盤図の作り方	18
第3章	地盤の調べ方と設計への反映 ～支持地盤としての評価～	33
3.1	地盤が構造物を支える	34
3.2	着目すべき地盤特性	49
3.3	設計に必要な地盤の調べ方	57
3.4	調査結果の評価と設計への反映	79
第4章	地盤の調べ方と設計への反映 ～地盤を掘削する場合の評価～	103
4.1	地盤を掘削する	103
4.2	着目すべき地盤特性	111
4.3	設計に必要な地盤の調べ方	128
4.4	調査結果の評価と設計への反映	150
第5章	地盤の調べ方と設計への反映 ～材料として用いる場合の評価～	175
5.1	材料として扱う	175

5.2	土木構造物に応じた “材料”としての着目点，調査・試験 および設計への反映……	182
-----	---	-----

第6章	地盤の問題解決のための 技術と動向……	213
6.1	調査試験技術の動向と利用方法……	214
6.2	新技術の動向……	228

索引	……	271

第1章 はじめに

われわれジオ・エンジニアが実施する地盤調査は、様々な構造物を対象として、その設計・施工に必要な地盤特性を得ることを目的としている。着目すべき地盤特性は対象となる構造物や地盤の条件によって異なってくるが、地盤の利用形態に応じて、

- 施工に際して問題となる事象を把握すること
- 問題解決に必要な地盤特性を得ること
- 地盤特性を評価し設計へ反映すること

を意識して地盤調査を進めていくことが重要である。

地盤の利用形態は、構造物を支持する場合、地盤を掘削する場合、材料として利用する場合の3つに大きく分類される。図-1.1および図-1.2は、これらの利用形態、着目すべき地盤特性ならびに主な調査・試験の方法と得られる物性値等を関連付けて示したものであり、後続の各章において、これらの関連について具体的に解説していくこととする。

なお本書は上述した地盤の利用形態に主眼を置いた構成としたため、地盤調査に関わる全ての情報を網羅しておらず、限定的な内容となっていることを予めお断りしておく。

ジオテクノート16
現場における地盤調査法の基本
～ジオ・エンジニア養成塾～

平成26年1月28日 第1刷発行

編 集 現場における地盤調査法の基本
～ジオ・エンジニア養成塾～編集委員会
発 行 公益社団法人地盤工学会
東京都文京区千石4-38-2
〒112-0011 Tel.03-3946-8677 Fax.03-3946-8678
発 売 丸善出版株式会社
東京都千代田区神田神保町2-17
神田神保町ビル
〒101-0051 Tel.03-3512-3256 Fax.03-3512-3270
印 刷 株式会社 報 光 社

©2013公益社団法人地盤工学会 26.01.1500-1365 ⑤

ISBN 978-4-88644-216-1

価格はカバーに表示してあります。
乱丁・落丁は送料当学会負担にてお取り替えいたします。
お手数ですが、地盤工学会まで現物をお送り下さい。